

# 第25回トライアスロンさぎしま大会 8月24日(日) 午前10時スタート

## 交通規制のお願い

8月24日(日) 大会当日  
午前10時から午後2時まで  
島内県道は全面通行止めです

ご協力よろしくお願ひいたします。

## 「毎日楽しく続けられる体操教室」が開催されました

7月12日(土)佐木区民会館で元気さぎしま協議会健康づくり班が「毎日楽しく続けられる体操教室」を行い、約55名の参加がありました。

講師は、広島元気いっぱいプロジェクトの岩崎浩美先生で、簡単に覚えられて簡単にできる、肩、腰、膝に効く体操を6つ教えていただきました。体操をする前とした後に体に現れる効果の違いを実感できる方法も教えていただき、岩崎先生の楽しい進行で、心にも効き目がある楽しい体操教室でした。

皆さん、効果を実感しながらご自宅で続けてみてください。



## 元気さぎしま協議会会員募集!

元気さぎしま協議会は、今年度、農村と都市部が交流、共生を目的とした農林水産省の助成を受け、700万円の事業を計画しています。

多くの皆様が集結して佐木島が元気になるよう助成金を有意義に活用していきたいと思ひます。

一緒に活動して頂ける方は、コミセン又は会員に連絡して下さい。

## 安全祈願!

7月26日(土)18時から和霊石地藏祭に合せて、第25回トライアスロンさぎしま大会が事故無く挙行できるよう、役員一同で安全祈願を行いました。



## 元気さぎしま協議会大賞を受賞



6月21日(土)広島市内で中国地方地域づくり等助成事業報告会が開催されました。

報告会では、25件の団体が採択された中から、9団体が選ばれて報告しました。毎年、活動内容の優れている団体を参加者が投票し、大賞1団体、敢闘賞2団体に送られますが、今年は同点で大賞が2団体となり、元気さぎしま協議会の「佐木島の地域資源の活用と島民総おもてなしによる交流の島づくり事業」と、広島干拓生物研究会「ひがたの生きものふれあい事業」が選ばれました。

## 図書貸出日変更のお知らせ

トライアスロン準備作業のため貸出日を変更します。

8月23日(土) 8月25日(月)

## 8月町内行事予定

- 6日(水) トライアスロン役員会
- 9日(土) 町内会やっさ祭出場
- 14日(木) 3地区盆踊り大会
- 23日(土) トライアスロン大会準備
- 24日(日) 第25回トライアスロンさぎしま大会
- 25日(月) トライアスロン大会の関係者に挨拶回り

牡丹

俳句・短歌

- 妻退院初蝶嬉しく庭に舞う  
地蔵さん住吉祭夏そこに  
あかんだれ
- 静けさや梅の実落つる土の音  
海沿いに刈り込み終へし岩の松  
ぶんか
- 前と後銚巡りたる夏の古都  
夏越には蘇民将来子孫也  
一草
- この頃は夫婦二人で入院す  
よきアイデアと思ひませんか  
D生
- 長歴史平茂盛氏感謝す  
雨風たえて地蔵さんかな  
D生
- 梅雨空に海面穂やか定期船  
対岸向いて大声吟ず  
巧みな言葉についつい感う



### 真の楽しさ、生み出す力を

去る6月24日、東京・神宮外苑の東京藝術学舎で、ふるさとという最前線第6期の最終講義がありました。これまでの取り組みや今後の佐木島での活動について各チームが報告、講師の松井利夫先生、山崎亮先生、西上ありさ先生からアドバイスを受けました。studio-Lの山崎亮先生(写真)は「参加し、ふるさとの課題に取り組む中で、真の楽しさを生み出す力を身につけられる。それが、国の未来や我々自身の人生の豊かさに影響をあたえるのでは」と話していました。

講義が終わっても、継続的な活動が出来るよう、各チームのリーダーによる定例会なども始まり、協力体制も整ってきました。

### 5感で体験ツアーを企画

若い人に「5感」で佐木島を楽しんでもらいたい、しましま☆ラヴァーズでは9月6、7両日、体験ツアーを予定しています。バーベQや本格カレーでみなさんとの交流も計画中。詳細は次号で。

この欄のお問い合わせ、ご意見ご感想は、東京藝術学舎ふるさとという最前線第6期生、戸村裕司(080-8050-7535、tomurayuji@mac.com)まで是非どうぞ

旅のあと、島の人のメッセージが書かれた絵葉書が届いたら、再び佐木島を訪ねるきっかけになるのでは…、そんな思いから生まれた絵葉書プロジェクトがトライアスロン当日に行われます。  
**ちよつと変わった絵葉書**  
「レター・フロム・サギ」佐木島からの手紙」と名付けられたこのプロジェクトを実施するのは、ふるさとという最前線のとーちゃんずというチーム。島外から人が多く訪れるトライアスロン大会当日に、オリジナルの島の絵葉書を販売します。  
ここまでは普通の絵葉書販売と変わりありません。ところが、購入した人に自分宛てに手紙を書いてもらい、ポストではなく、回収箱に投函。集められた手紙には、島の人のメッセージが加えられ、発送される仕組みです。  
(図参照)



**深まり広がる、つながり**  
メンバーの井関玲子さんは「島の方のメッセージの入った、世界にひとつだけの絵葉書が、島とのつながりを深め、再び島に訪れるだけでなく、家族、友人と広がっていったら素敵です」と話しています。

## メッセージ入りの絵葉書で再来島につなぎたい

トライアスロン大会で絵葉書プロジェクト、初めての試み



写真は試作品(左)ととーちゃんずの面々(下)です。  
トライアスロン大会当日にはメンバーも来島。またメッセージを書いてくれる人も募っています。

## 温故知新

先人の足跡を尋ね、地域を再確認することは、私達の心に豊かさを与えてくれます。

### 三界万霊塔・六地藏 (その一)

安楽寺の境内には天保八年(一八三七年 江戸時代後期)に三界万霊塔のお地藏様が中央に位置付き六地藏が建立されています。

#### 三界万霊塔とは

三界とは欲界・色界・無色界の世界を指し、発生から死滅までを繰り返しているこの世界のことであり、万霊とはありとあらゆる精霊のことなので、三界万霊塔はありとあらゆる精霊を合祀した塔のことをいいます。

どの寺にも三界万霊塔を祀っており、すべての精霊にご加護を頂いています。

#### 六地藏とは

真ん中に三界万霊塔のお地藏さまが位置付き、左右それぞれ三体のお地藏さまが祀られています。  
お地藏さまは現世の苦悩を祓除してくださる存在だけでなく、冥界へ赴く死者の冥途への道中を守ってくださる守護仏でもあり、墓地の入口や寺の境内、火葬場へ向かう葬道の傍らに立って葬列を見送っています。  
したがって、六地藏は、墓の入口で死者を迎えたり、受け取ったりするので「お迎え地藏」「受け取り地藏」などとも言われています。

#### お地藏さま

地藏菩薩のことを一般的に親しみを込めて「お地藏さま」と呼んでいます。  
お地藏さまは大地が全ての命をはぐくむ力を蔵するように、苦悩の人々をその無限の大慈悲の心で包み込み、救う所から名付けられたとされています。日本における民間信仰ではお地藏さまは人々にとって一番親しみやすい仏様であり、又「子供の守り神」としても信仰されています。



安楽寺の六地藏